

1. 活動名

地方議員研究会 CK セミナー

2. 研修の目的

(1)本市における課題

一般質問、財政(歳入・歳出)をテーマに、あらためて基礎的なテーマであるが議員力のアップを図るべき。

(2)研修の必要性

1日目のテーマは、一期・二期目のような経験がまだ浅い議員向けであり、参考にすべき点がある。

2日目のテーマは、知っているようで知らないという財政の面で、経験値に関わらず、学んでおくべきと考えた。

(3)研修項目

「絶対的質問力」、「門外不出 質問作成 虎の巻」

「急激悪化地方の財政歳入増加策」…別紙報告

「持続可能な歳出削減策」…別紙報告

3. 研修内容

(1)日時 2025年3月 24 日(月)・25日(火)

(2)会場 京都 JA ビル

(3)出席者 3名 上條美智子・内田麻美・近藤晴彦(25 日のみ)

(4)内容

「絶対的質問力」

●質疑作成1 フィールドを選ぼう

代表質問(一般質問)のポイントは①大局観のある質問 ②市民、議員、当局へ周知したい内容の質問 ③当局を大きく揺さぶりたい質問

●質疑作成2 質問作りの心構え

「みんなの不満を形にせよ」…自己満足的な質問は半分！ニーズを捉えた質問半分！

「トレンドを掴め！」…したい質問より聞きたい質問、時流をつかんで質問せよ！ 例)防災ネタは9月が良い、近年8月に水害が起きることが多く、市民の関心も高い。

●質疑作成3 ネタを探そう

①ベストプラクティスを使う・・・D ファイル、政策立案データベース、注目議員・首長をチェックせよ、常日頃からネタをストック

②専門家の視点の活用・・・質問は新書で作成できる！本は乱読した方がいい。

③陳情、市民との対話。現場での気付き

④行政マンとの対話・・・役所が困っていることを聞き出す。

⑤旬なネタを取り扱え

⑥議案説明から質問へ・・・施策の欠点(公平性・しわ寄せなど)、100%いいなものはない。メリット・デメリットがあり、課題は何なのかを行政に聞く。

⑦過去の質問を練り直す

●質疑作成4 ゴールを決める

「どうするのですか？」ではなく、「こうしたい、こうすべき」提案型で。

理想を持たない質問は無意味・無責任！

質疑準備における注意点・・・①事前調査を怠るな！ ②年に一本は大掛かりなネタを仕掛けろ！年一のネタはマスコミが飛びつくようなネタを ③一度きりで終わらせない ④質疑とは人の時間を奪うこと。公共の時間を奪う価値のない質問は御法度。 ⑤安易な妥協はするな。痕跡を残すことが議会だ。

「門外不出 質問作成 虎の巻」

●質疑作成 唸る質問の作り方

極意①情報収集に始まり、情報収集に終わる・・・相手より情報量が少ないと交渉に負ける！

極意②当局の知らない独自の情報を入手せよ・・・独自の情報が質問をより深層部へと導く

極意③角度と論理構成を変えれば良質な質問へ・・・質疑の想定問答とシミュレーション、徹底的に論破・落とし所の逃げ道

極意④霞ヶ関の権威を利用せよ・・・国の通達、他都市の判断、業界の権威は使える！

極意⑤一回きりで終わらせない・・・次回議会での質疑予告など、役所は議会を乗り切るものだと思えている。議会が終わるとやれやれと思っている。

極意⑥役所の痛いところを突く・・・役所職員から勘所を聞く(係長級はどう考えるか？) 内部告発したくなる議員になれ。

極意⑦常識を覆す意外性要素を入れろ

極意⑧潰されずに戦え！潰されるなら取引せよ・・・切れのある質問は最強の道具

極意⑨信念と熱量…熱意が人を動かし信念が人を惹きつける。

●質疑を生かした広報の向上

書きたいことより読みたいもの、質問原稿など誰も読みたくない。

読みたくなる広報！ 読んでもらえなければ意味がない。

雑誌の見出しやキュレーションサイトを参考に。

・SNS…①速報性を重視 どこよりも早く情報を届ける。

②ニーズを重視 社会ニーズの高いものを優先的にリリース

・チラシ…ニーズを重視 必ずしも前議会での報告である必要はなし

(5)成果・所感等

講師の村山氏の経験を交えた分かりやすい講義で、質問には調査に時間をかけて臨むことや、現場に赴くことなど、これまで自分も実践はしてきてはいるものの、大局観のある質問かと問われると反省点もある。

また一回きりで終わらせず、次回議会での質疑予告などこちらの本気度、熱量を伝えることも大切だということは忘れてはいけなかったと感じました。

広報についても、チラシについては自分でも議会質問の報告をしなくてはいけないという囚われがあったことを反省。市民や支援者が読みたいもの、ニーズは何なのか、今後の作成に反映させていきたい。

4. 政務活動費

(1)使途項目 研究研修費

(2)支出額 293,730 円

【研修会受講代 150,000 円 (60,000 円×2 名、30,000 円×1 名)

振込手数料 880 円

宿泊費 71,390 円 (28,295 円×2 名、14,800 円×1 名)

交通費 71,460 円 (23,820 円×3 名) 】

以上

1, 活動名 地方議員研修会（京都）

第3講義「アフターコロナの議員目線 夕張からの警鐘 持続可能な歳出削減策」

2, 受講の目的

（1）本市における課題

本市は、全体的にバランスの取れた財政運営がされていると受け止めている。

一方、松本市庁舎建設、松本市保健所建設、松本市立病院建設と、大型事業が進められている。また、2045年以降は、人口減少が急加速していくと予想され、税収も減少する。現状のままのサービスを提供することは非常に難しくなってくることは明らか。

（2）調査の必要性

持続可能な歳出削減策について、有識者からの意見や、現場経験から、直接お話をお聴き、議員として、意識、知識をさらに高めていくことが重要。

（3）調査項目

財政の健全運用について

経営破綻した自治体事例に学ぶ

3, 調査結果

（1）実施日 令和7年3月25日

（2）出席者 4名 上條美智子 近藤晴彦 内田麻美

（3）結果 大変得るものがありました

（4）成果・所管等

講師が市議会議員5期の経験から、現場の状況が手に取るように伝わってきた。

市の財政指標を見ただけでは、判断できない面もある。

夕張市の財政破綻の事例を通し、財政再建について説明を受けた。炭鉱の廃止が発端であるが、その後、第3セクターの粉飾決算があったことが判明。破綻の大きな要因となった。また、当時の市長の長期政権による、おぞなりの財政運営に至った可能性にも言及。財政に占める給与費の削減、公共施設の統廃合による、財政負担の軽減、行政と民間事業者の連携による、行政負担の軽減策など、たくさんの事例を通し、具体的に説明があり、大変有意義な研修会となりました。

松本市の決算において、何にどのように使われ、翌年にはどう反映していくのか等、審議の参考にしてまいります。

4, 政務活動費

別紙にて報告

以上

1 活動名

地方議員研究会 CK セミナー参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題

行政改革は自治体が継続する限り実施しなければならない。財政面から如何に無駄な歳出を削減できるかが重要である。これまでの延長線上の取組みでは限界があり、新たな視点、手法でのアプローチが見えてこない。

(2) 研修の必要性

全国各地の最新の取組みを学ぶ必要性があり、本講座を受講することとした。

(3) 研修項目

持続可能な歳出削減策

3 研修内容

(1) 日時 令和7年3月24日～令和7年3月25日

(2) 会場 京都 JA ビル

(3) 出席者 3名 上條美智子、近藤晴彦、内田麻美・・・

(4) 内容

ア タ張市の財政破綻から学ぶ

タ張市破綻経緯について、まったくずぼらな（悪質な）財政運用が最大の要因であるが、それを見落としてしまった議会と監査委員の責任も大きい。財政のチェックはしっかりと行われなければならない。（第三セクターの長年にわたる粉飾決算が原因）

イ 予算編成の見直し

歳入と歳出のバランスを直さない限り財政再建はできない。その為には、財政の運用ルール of 厳格化、財政調整基金を基準まで貯めること、臨時財政対策債含めた債務の圧縮を着実に遂行すること、目的外の基金の取り崩しを禁止すること、不用意な債務は認めないことがたいせつである。「あれもこれも」から「あれかこれか」の時代、選択と集中により大きな成果を出し、全体最適を図ることを目指す。（明石市の事例）

ウ 行政改革の内容を実効性あるものに。

事務事業の見直しを徹底するには、ABC 分析が有効的である。事務事業の総費用（人件費も含める）を1回当たり・1人当たり・1カ所当たりのように、1単位に割り返したコストを明らかにすることで費用対効果を判定し、必要性を検討する。意識啓発系の事業については特に実績の確認が重要。メッセージを発出したことで終わっていることが多くある。

エ 行政が資金を出し（借り）モノを作る時代は終わった。

社会資本整備における借り入れは負担の平準化となるが、現在は返済に対するリスクが過大である。これからは、出来るだけ借り入れをせずに、公民連携の新たな手法や視点を変えて社会基盤整備を行うべきである。PPP(PFI コンセッション PFS 施設借り上げ 施設包括管理 SIB)

(5) 成果・所感等

各種基金については、その目的について理解しておくことの重要性が分かり、これからの予算書の見方に参考となった。また、事業評価の具体的実施方法も参考となった。最も参考となったのは、行政が資金を極力かけない、新たな手法での社会基盤整備についてであった。今後の議会質問に反映させたいと考えるところである。

4 政務活動費

別紙報告あり